

助成受給団体名	ふりがな とくていひいえりかつどうほうじんふようどにせんひやく 特定非営利活動法人ふよう士2100
<p>実施した事業の内容(200字以上500字以内に収めてください。)郡山市 「障がい児の被災者家族のためのサポート事業」 ■交流サロンひかり運営 「交流サロンひかり」内で障がい児の一時預かりを実施し、障がい者家族の生活支援に努めてきた。 (預かり時間・9:00～18:00 お盆休み 年末年始休み) 【成果】事業実施期間の中で延べ500人の障がい児や障がい児家族が交流サロンひかりの一時預かりおよび余暇活動支援行事に参加。交流サロンひかりを定期的にご利用する子供が5人。不定期にご利用する子供が12人。今年度も多くの子どもや家族が利用し、障がい者の居場所を確保することができた。27年1月から福島県の指定を受けて、「放課後等デイサービスがっこ」、郡山市の指定を受けて、「相談支援事業所ひかり相談室」を開設した影響で、新たな利用問い合わせも増え、障がい者家族の悩み解決に役立つことができた。青森県から父親の仕事で転勤してきた小学3年生の男の子は、「アスペルガー症候群で行動障害も多くて、引っ越してからなかなか預かってもらえなかったけど、ひかりさんのような場所があって助かった」とのお言葉をお母さんからいただき、改めて必要な事業であることを実感した。浪江町からの避難者が一時帰宅のために、利用するケースも続いた。</p>	
<p>今後の課題(200字以上400字以内に収めてください。)いままでも見受けられたケースではあるが、交流サロンひかりを当法人が実施している障がい児家族のサポート業務は、これまで社会資本の放課後等デイサービスや児童発達支援を利用してきたご家族よりも、制度がよく分からなくて、最終的に困って駆け込んでくるシングルマザー世帯や貧困家庭の利用問い合わせが少なくない。学習意欲もあり、探究心が強いお子さんなのに、環境が整わず機会を与えられずにいるケースも見受けられ、「交流サロンひかり」に子どもたちがいる時間帯の生活サポートだけでなく、行政担当者や支援相談員と連携し、機会提供の場を増やす必要が感じられた。さらに家庭内での食事や入浴の習慣も不規則なケースが見られ、最低限の生活環境の確保が急務だ。その反面、保護者の方々が抱え込んでしまって、自分の子どもはてがかかるからといって、活動を制限するケースが多くみられる。 自閉症やアスペルガー症候群の普通に小学校や中学校に通っている子供たちと変わらない。可能性を秘めていることをさらに啓蒙していく必要がある。</p>	

